

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372201547
事業所名	グループホーム 瀬部

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	町内の掃除に利用者も参加したり、盆踊りに参加したりして地域との関わりの場を持つよう努めている。また、毎年恒例の10月に行うバザーに、今年は地域の人が50人ほど来訪して、バザーを楽しんでもらっている。今年もその売上げで、お月見どろぼうのお菓子を買い、近所の子供たちに渡し、交流を楽しんでいる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	年6回行われ、町内会長、民生委員、市役所職員、家族らの参加が得られている。今年は防災についての話し合いが多く、民生委員より災害支援制度に登録を勧められたり、地域の避難場所での保管物の内容を確認するなどした。また、地域の人が体育館で一泊したり、日帰りするなどして集まり災害型訓練を行ったので、「来年はホームの人も参加しませんか?」と誘われている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	生活保護の利用者のもとへ、役所の職員が来て話しており、また、会議にも出席しているのでその際に情報交換をしている。一宮市施設部会に参加し、認知症についての勉強会などに出席して、連携を図っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	家族の来訪は多く、その際に管理者や職員は意見や要望を聞くよう心がけている。家族より加湿器を置いて欲しいとか、おかゆを食べさせて欲しいなどの要望があり、職員会議でも話し合い対応している。法人の「いわとだより」は年3回、ホームだよりは毎月利用者の写真をのせて発行している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。